

第2章 高齢者を取り巻く現状

第1節 練馬区の高齢者の現状（練馬区高齢者基礎調査より）

【練馬区高齢者基礎調査について】

区では、第4期計画策定にあたっての基礎資料とするため、平成19年12月に下記のとおり練馬区高齢者基礎調査を実施しました。

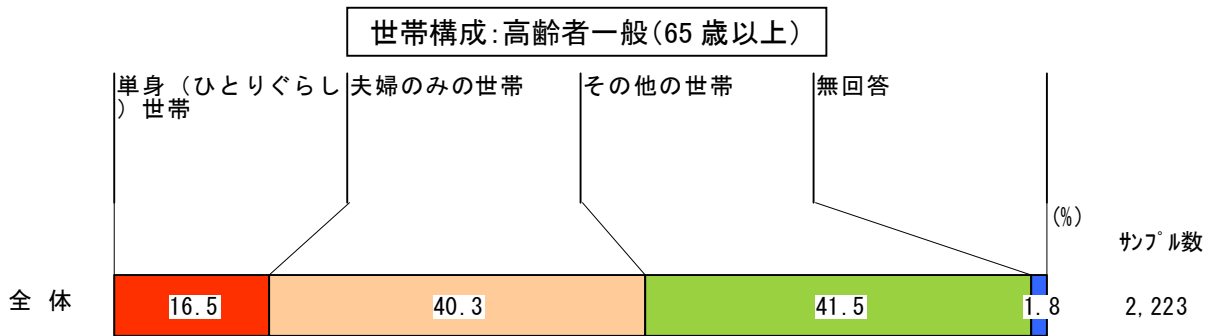
5つの調査の結果を一部抜粋し、高齢者を取り巻く現状等を紹介します。

<p>① 高齢者一般調査 【高齢者一般】 【特定高齢者（利用）】 【特定高齢者（未利用）】 ※ 「特定高齢者」とは、65歳以上の方を対象とする「生活機能評価」の結果、要支援・要介護になるおそれがあると判定された方を指します。</p>	<p>【高齢者一般】住民基本台帳から介護保険の認定を受けている方を含む65歳以上の方から無作為に（ただし、【特定高齢者（利用・未利用）】、③調査および④調査の該当者を除く）3,000人抽出しました。 〔有効回収数 2,223 有効回収率 74.1%〕 【特定高齢者（利用）】特定高齢者の認定を受けており、かつ平成19年4～11月までに介護予防事業を利用した135人を対象としました。 〔有効回収数 119 有効回収率 88.1%〕 【特定高齢者（未利用）】特定高齢者の認定を受けており、かつ介護予防事業を利用していない方から無作為に200人を抽出しました。 〔有効回収数 154 有効回収率 77.0%〕</p>
<p>②これから高齢期を迎える方の調査 【これから高齢期一般】 【介護サービス利用者】</p>	<p>【これから高齢期一般】住民基本台帳から介護保険の認定を受けていない55～64歳の方から無作為に1,000人を抽出しました。 〔有効回収数 552 有効回収率 55.2%〕 【介護サービス利用者】介護保険の認定を受けており、かつ介護サービスを利用している55～64歳の方から無作為に200人を抽出しました。 〔有効回収数 99 有効回収率 49.5%〕</p>
<p>③介護サービス利用者調査</p>	<p>介護保険の認定を受けており、かつ介護サービスを利用している65歳以上の方から無作為に3,000人を抽出しました。（ただし、調査①の該当者を除く。） 〔有効回収数 1,694 有効回収率 56.5%〕</p>
<p>④介護サービス未利用者調査 （要介護認定者調査）</p>	<p>介護保険の認定を受けているが、介護サービスを利用していない65歳以上の方から無作為に1,500人を抽出しました。（ただし、調査①の該当者を除く。） 〔有効回収数 892 有効回収率 59.5%〕</p>
<p>⑤介護サービス事業所調査</p>	<p>介護サービスを提供している区内の459事業者を対象としました。 〔有効回収数 275 有効回収率 59.9%〕</p>

総論第2章 高齢者を取り巻く現状

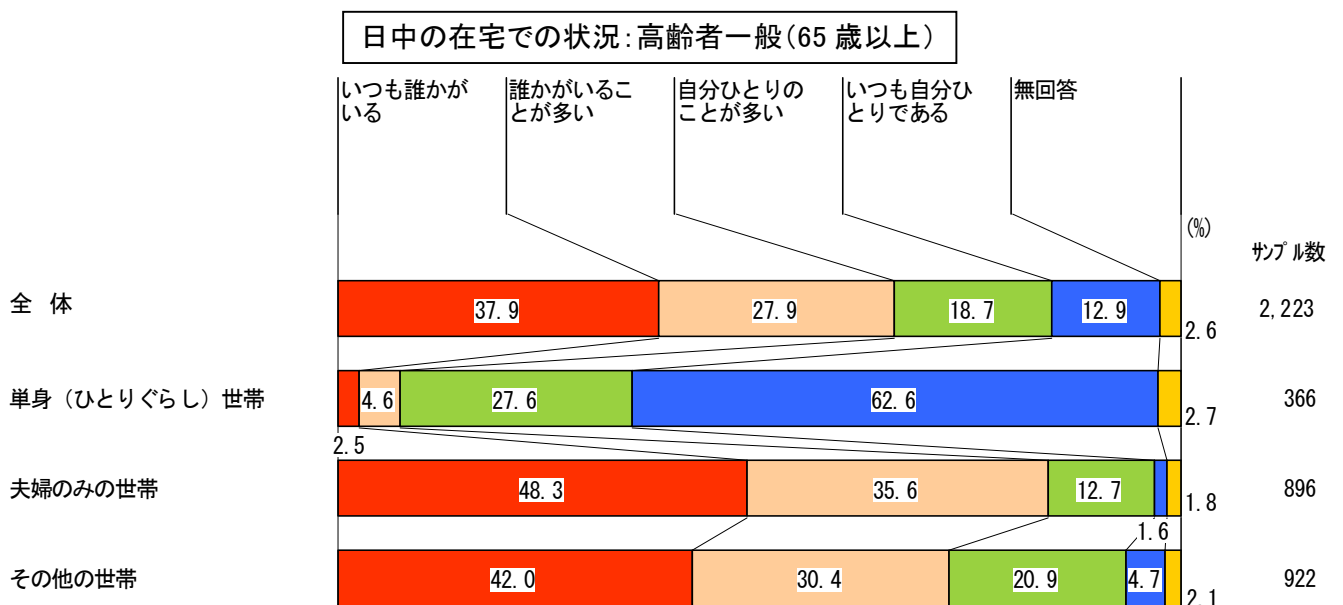
(1) 世帯構成

高齢者の増加に伴い、ひとりぐらしや夫婦のみの世帯が増加しています。高齢者一般調査（65歳以上）では、ひとりぐらし世帯の割合は16.5%と前回（平成16年）の結果（15.9%）よりも増加しています。夫婦のみの世帯の割合は40.3%で、前回（平成16年）の結果（40.4%）とほぼ同じです。



ひとりぐらし世帯でなくても、同居家族が働いている、学校に通っているなど、日中はひとりで過ごしているという方（日中独居者）もいます。

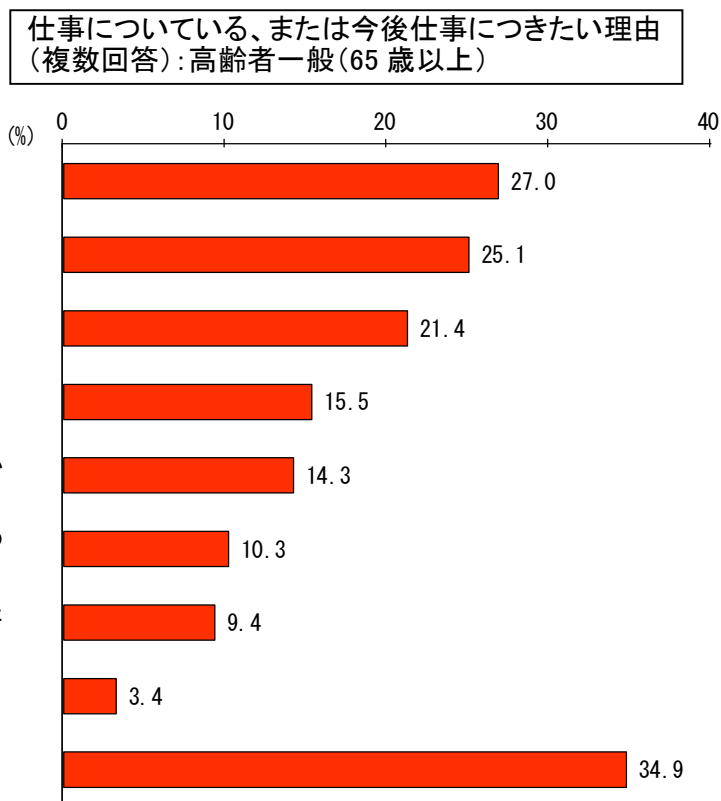
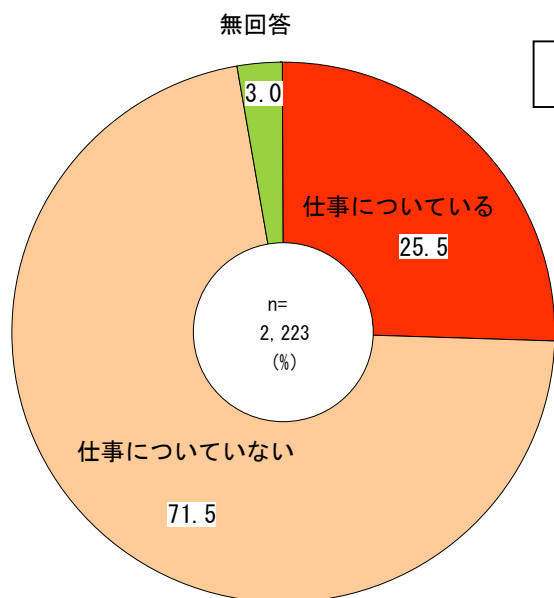
高齢者一般調査（65歳以上）では、「その他の世帯」のうち25.6%は、日中の自宅では「自分ひとりのことが多い」（20.9%）、「いつも自分ひとりである」（4.7%）と回答しています。



(2) 社会参加への意欲

高齢者一般調査（65歳以上）では、25.5%が「仕事についている」という結果であり、前回（平成16年）の結果（26.0%）とほぼ同様です。

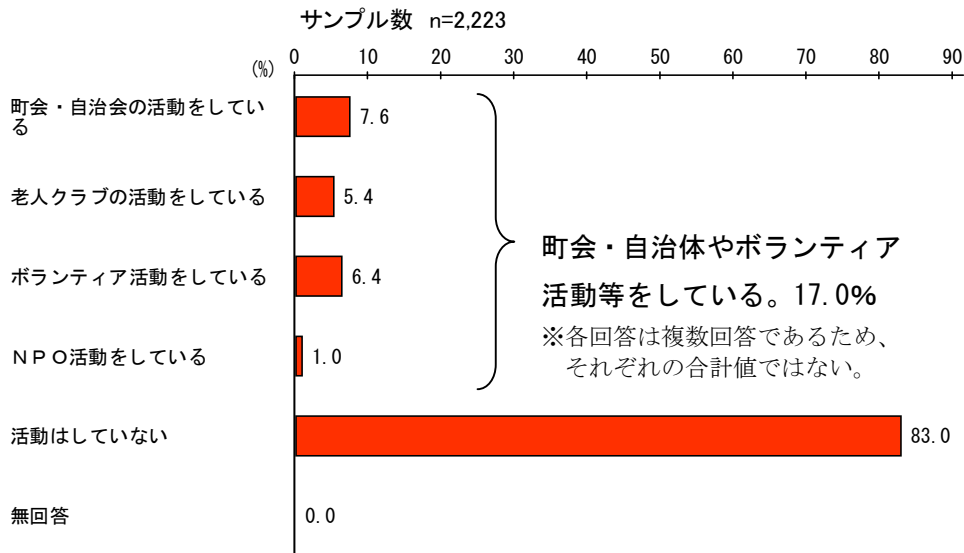
また、就労理由（今後の就労意向のある者も含む）では、「健康のため」が27.0%と最も高く、次いで「生きがいを得るため」が25.1%という結果となっています。



総論第2章 高齢者を取り巻く現状

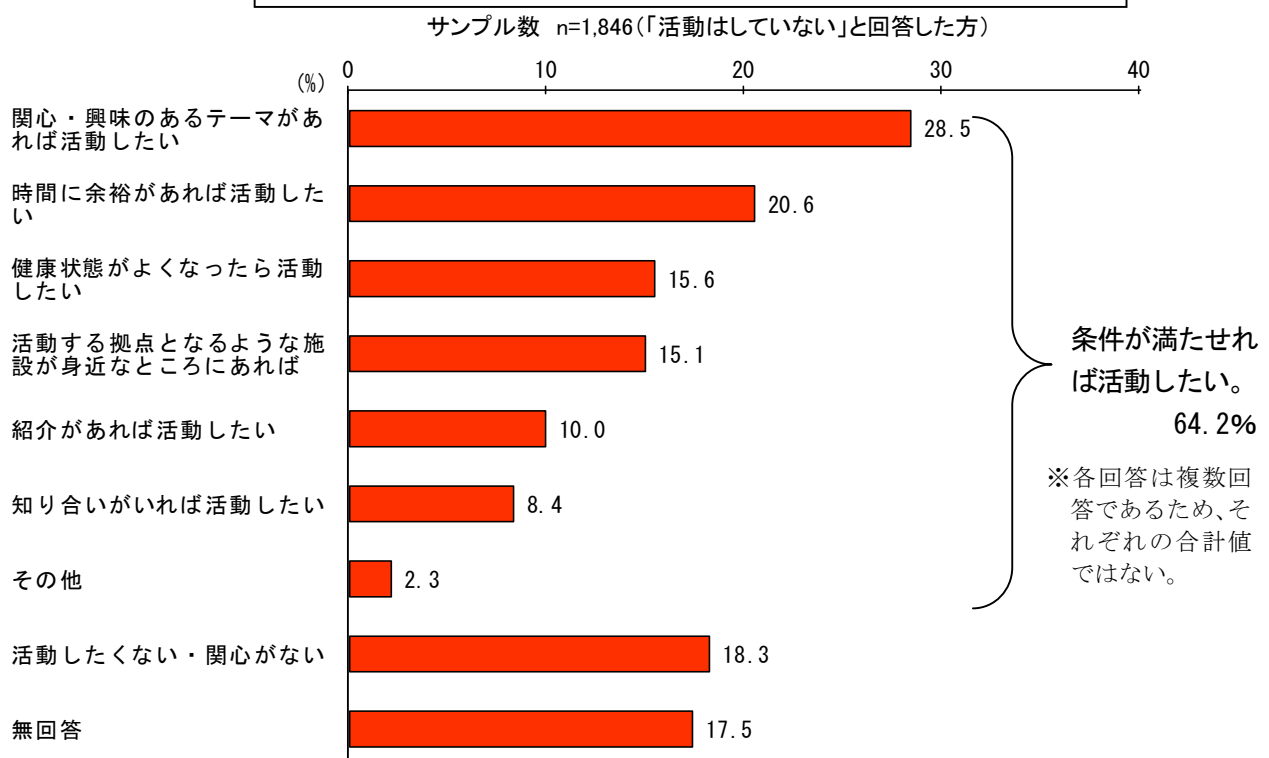
地域活動への参加については、現在、町会・自治会やボランティア活動など何らかの形で地域活動に参加しているという回答は17.0%であり、前回(平成16年度)の15.5%を若干上回っています。

町会・自治会やボランティア・NPO 活動への参加状況(複数回答):高齢者一般(65歳以上)



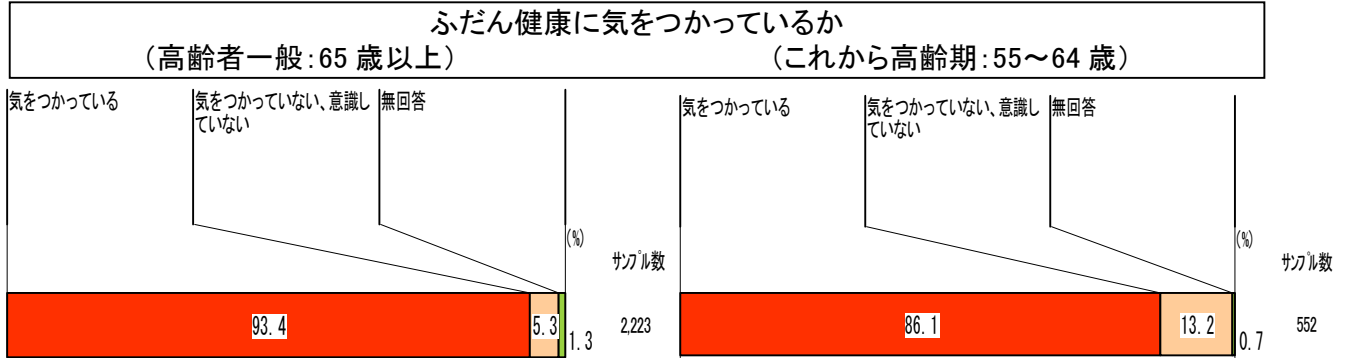
一方、現在「活動はしていない」と回答した方のうちでも、28.5%は「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」、20.6%は「時間に余裕があれば活動したい」など、64.2%の方が、活動のための条件が満たせれば活動したいと考えています。

活動に必要な条件やきっかけ(複数回答):高齢者一般(65歳以上)

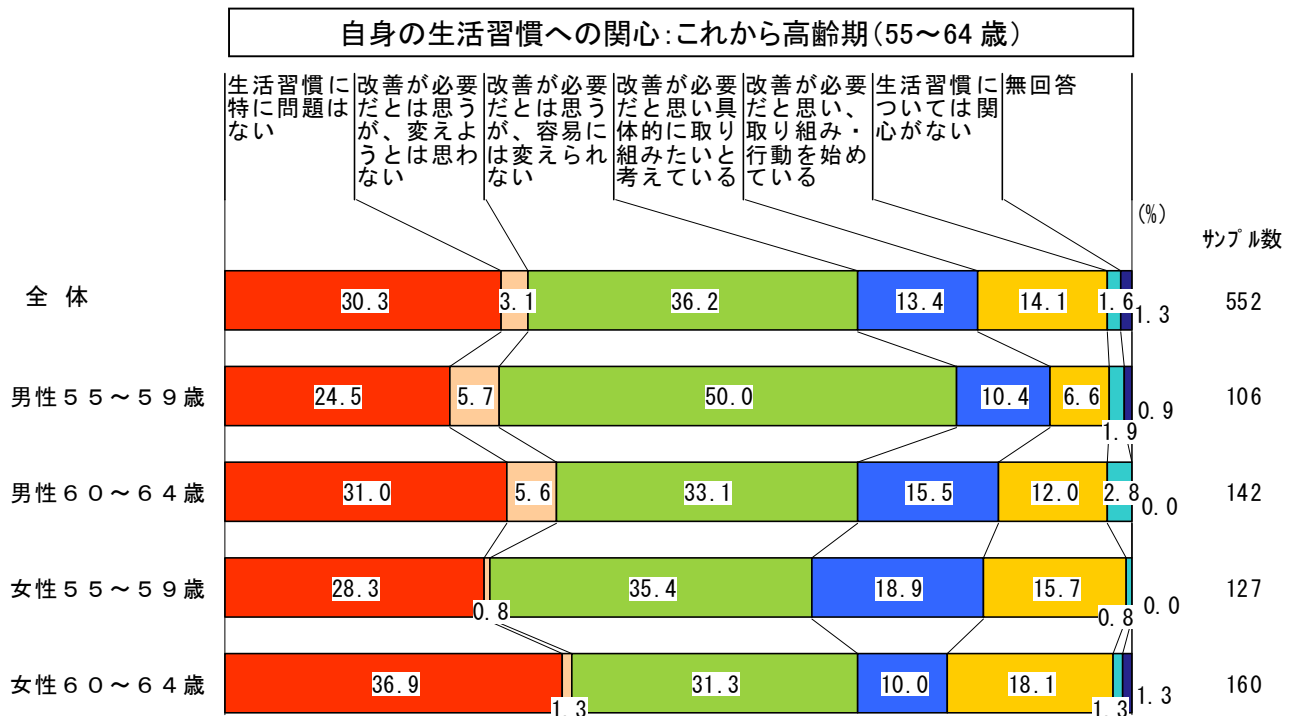


(3) 健康への意識

高齢者一般調査（65歳以上）では、「ふだん健康に気をつけている」と回答した方が93.4%と大多数を占めています。



しかし一方で、これから高齢期を迎える方への調査（55～64歳）では、自身の生活習慣への関心については、「改善が必要だとは思いますが、容易には変えられない」という回答が多く、特に男性の55～59歳では50.0%を占める結果となっています。

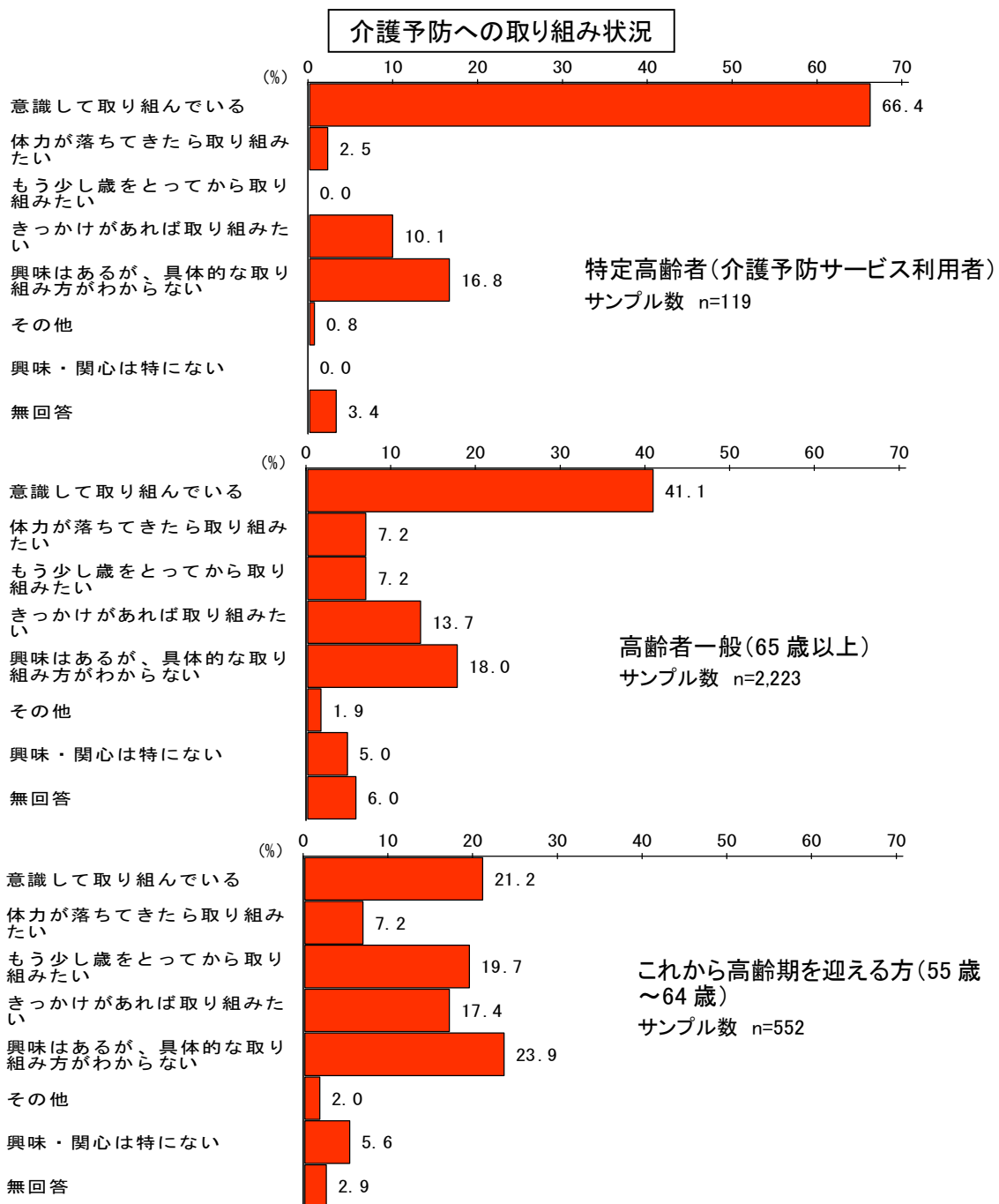


総論第2章 高齢者を取り巻く現状

(4) 介護予防への取組状況

高齢者ができるかぎり介護を必要とせずに、自立した生活を送れるよう、日ごろから介護予防に取り組むことが必要です。

介護予防への取組方をみると、特定高齢者（5、43、98 ページ参照）の介護予防サービス利用者では、「意識して取り組んでいる」が66.4%であるのに対し、高齢者一般（65歳以上）では41.1%、これから高齢期を迎える方（55歳～64歳）では21.2%と、介護予防の重要性への理解は、十分に浸透していない状況です。

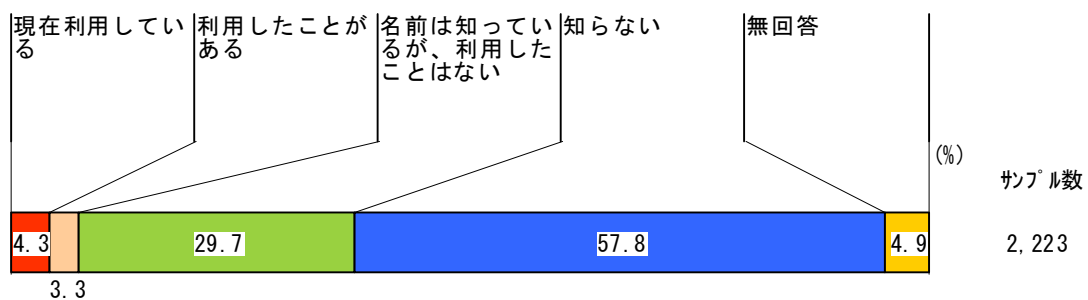


(5) 地域包括支援センターの認知度

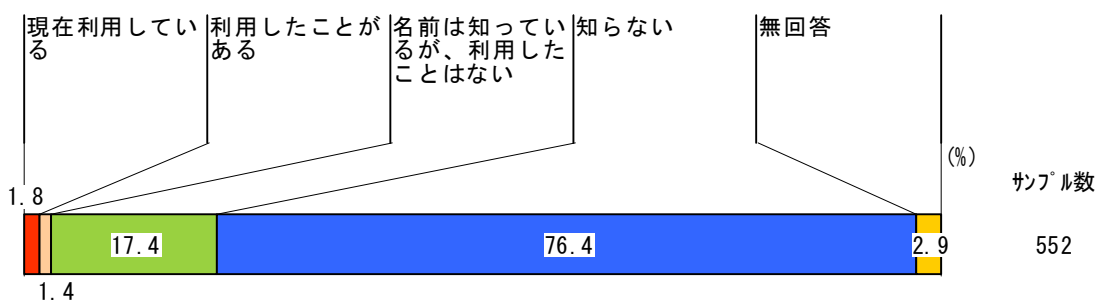
高齢者一般調査(65歳以上)、これから高齢期を迎える方への調査(55~64歳)では、地域包括支援センターを「知らない」という回答がそれぞれ57.8%、76.4%と、現時点では十分には認知されていない状況です。

地域包括支援センター認知状況

高齢者一般(65歳以上)



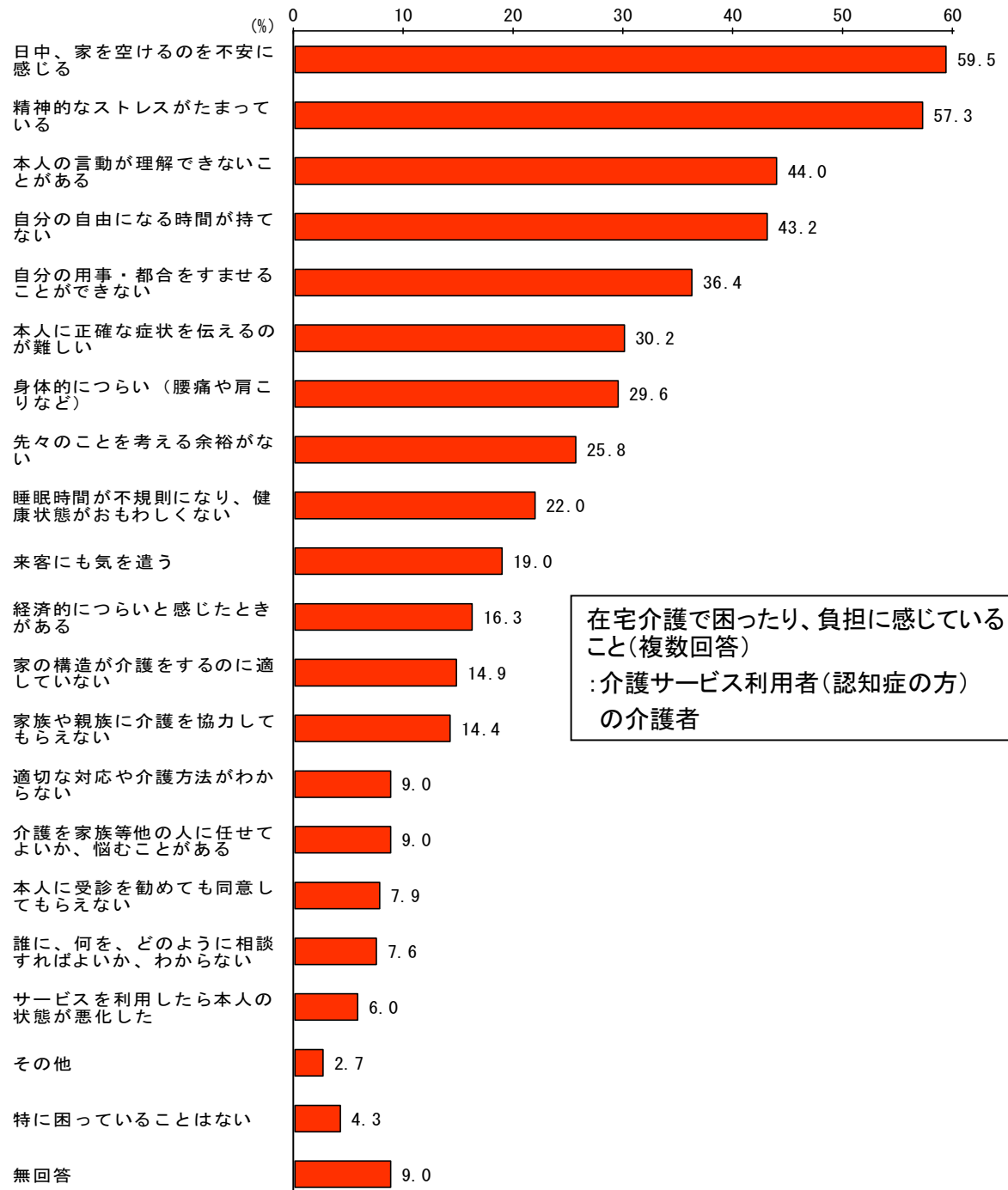
これから高齢期を迎える方(55~64歳)



総論第2章 高齢者を取り巻く現状

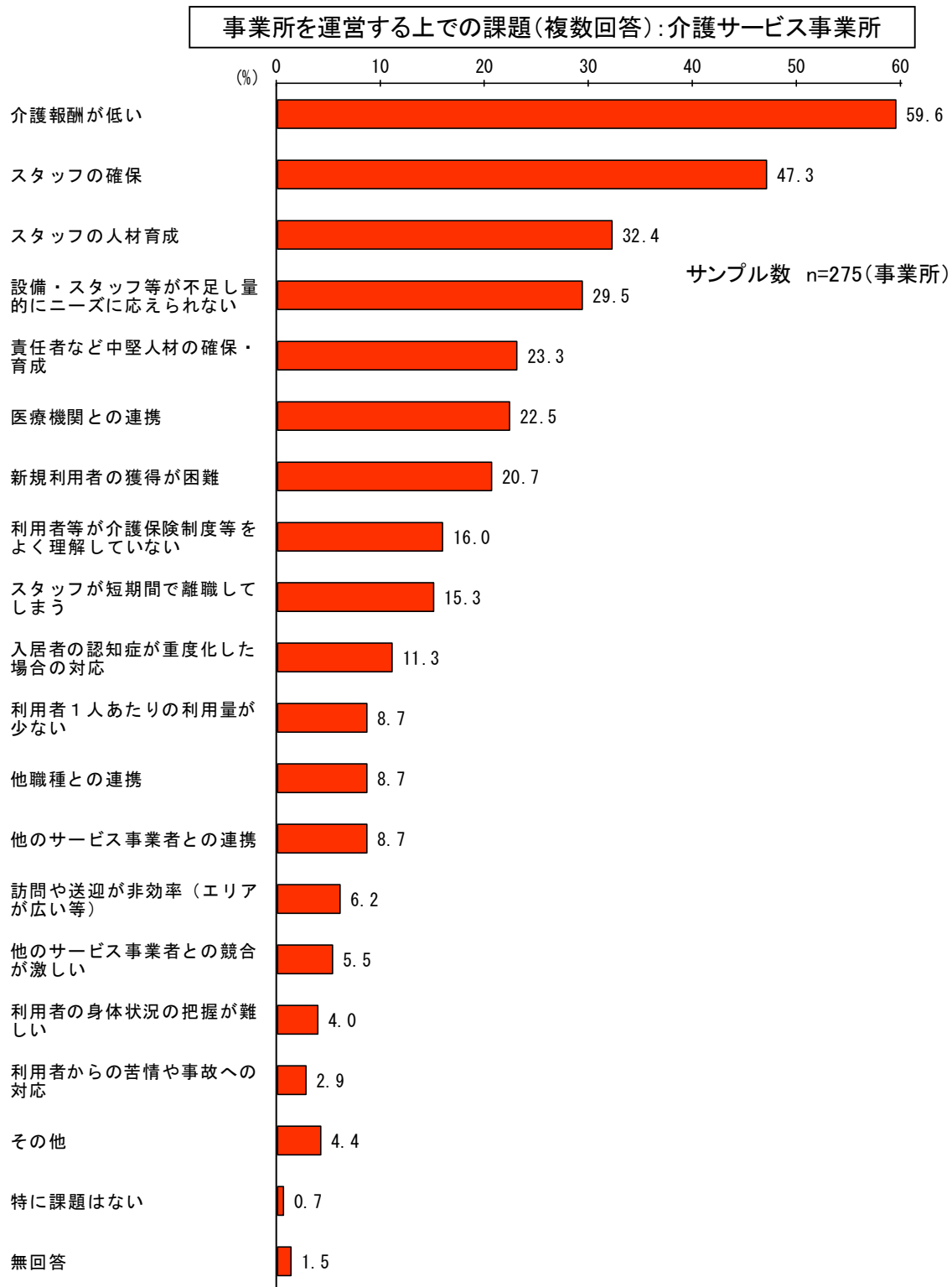
(6) 認知症高齢者の介護

介護サービス利用者調査（認知症の方）によると、認知症高齢者の介護者が、在宅介護で困ったり、負担に感じていることは、「日中、家を空けるのを不安に感じる」が59.5%、「精神的なストレスがたまっている」が57.3%という結果となっています。また、「本人の言動が理解できないことがある」が44.0%、「本人に正確な症状を伝えるのが難しい」が30.2%と、介護者が要介護者とのコミュニケーションを図ることに困難を感じる割合が高くなっています。



(7) 介護人材の確保

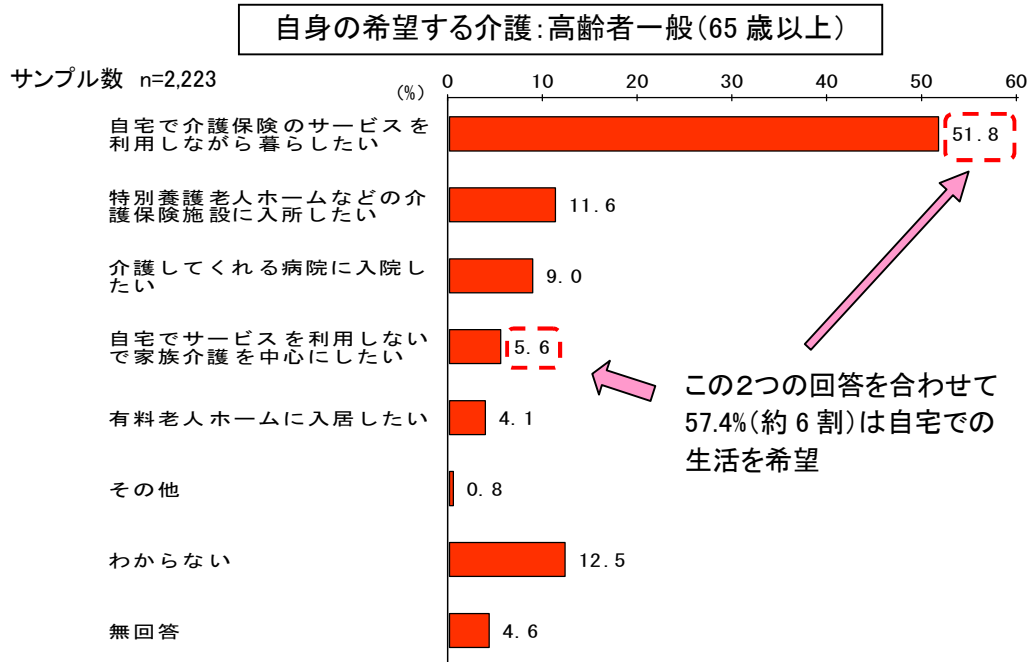
介護サービス事業所調査では、事業運営上の課題として、「介護報酬が低い」が59.6%と最も高く、次に「スタッフの確保」が47.3%、「スタッフの人材育成」が32.4%、「設備・スタッフ等が不足し量的にニーズに応えられない」が29.5%と、人材確保に関する課題が多くあげられています。



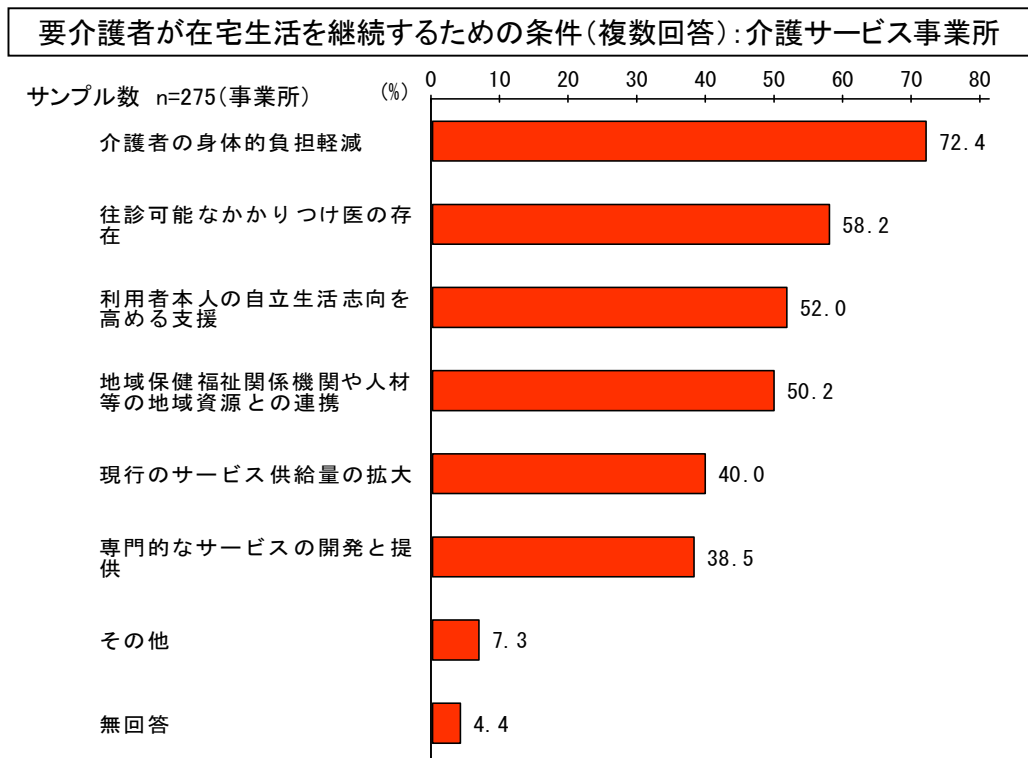
総論第2章 高齢者を取り巻く現状

(8) 在宅介護・医療に関する意見

高齢者一般調査（65歳以上）では、自分自身が日常生活をおくる上で介護が必要となった場合に、約6割の方が、自宅での生活を希望すると回答しています。

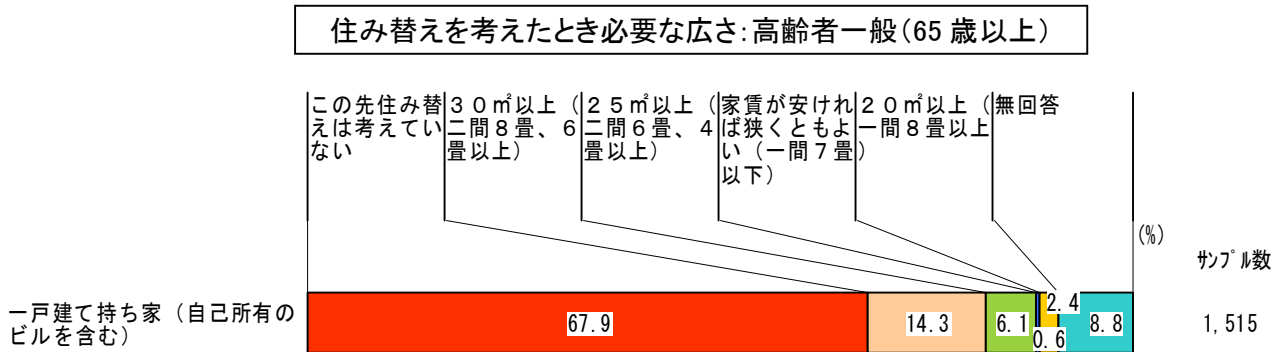
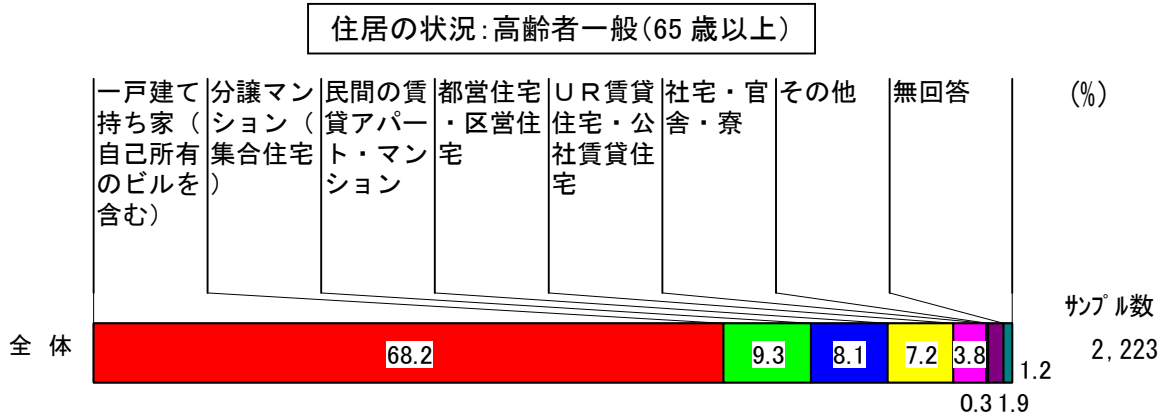


一方、介護サービス事業所調査では、要介護者が在宅生活を継続するための条件として、「介護者の身体的負担の軽減」という回答が72.4%ともっとも高く、次に「往診可能なかかりつけ医の存在」が58.2%という結果となっています。



(9) 住まいの現状

高齢者一般調査（65歳以上）では、約7割の方が一戸建ての持ち家に住んでいると回答しています。また、現在一戸建ての持ち家に住んでいると回答した方のうち67.9%は、「この先住み替えは考えていない」と回答しています。



第2節 練馬区の介護保険事業の現状

(1) 第1号被保険者の状況

① 第1号被保険者数

- 平成20年における総人口に占める第1号被保険者数の割合は18.7%となっています。18年から20年にかけて、8,056人、0.9ポイントの増となっています。
- 平成20年における第1号被保険者の内訳は、前期高齢者(65～74歳)が55.3%、後期高齢者(75歳以上)が44.7%を占めています。18年から20年にかけて、後期高齢者が2.4ポイントの増となっており、前期高齢者と後期高齢者の比率が急速に変化しています。

第1号被保険者数

(単位:人)

区分		年次	平成18年	平成19年	平成20年
総人口	総人口		687,726	692,899	699,403
	前年比			0.75%	0.94%
第1号被保険者	被保険者数		122,625	127,133	130,681
	総人口比		17.8%	18.3%	18.7%
	前年比			3.68%	2.79%
前期高齢者 (65～74歳)	被保険者数		70,743	71,913	72,245
	第1号比		57.7%	56.6%	55.3%
	前年比			1.65%	0.46%
後期高齢者 (75歳以上)	被保険者数		51,882	55,220	58,436
	第1号比		42.3%	43.4%	44.7%
	前年比			6.43%	5.82%

※各年4月1日現在。(資料:「練馬の介護保険」)

(2) 要介護認定者の状況

① 第1号被保険者の要介護認定者数の推移

- 平成20年度末における要介護認定者数は20,863人で、18年度から20年度にかけて、1,487人の増となっています。
- 介護保険法改正直後の平成18年度は、要介護1以下の軽度者が36.8%を占めていましたが、20年度には33.2%まで減少しました。
- 要介護2の認定者は、3.0ポイント増加しています。

第1号被保険者の要介護認定者数 (単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成18年度	1,087	2,320	3,722	4,010	3,017	2,976	2,244	19,376
	5.6%	12.0%	19.2%	20.7%	15.6%	15.4%	11.6%	100.0%
平成19年度	957	2,430	3,324	4,838	3,364	2,882	2,357	20,152
	4.7%	12.1%	16.5%	24.0%	16.7%	14.3%	11.7%	100.0%
平成20年度	1,040	2,490	3,439	4,936	3,544	3,003	2,411	20,863
	4.9%	11.9%	16.4%	23.7%	16.9%	14.4%	11.6%	100.0%

※各年度末現在、ただし平成20年度は見込値です。(資料:「練馬の介護保険」)

② 第2号被保険者の要介護認定者数の推移

- 平成20年度末における要介護認定者数は647人で、18年度から20年度にかけて、ほぼ横ばいとなっています。
- 平成20年度末における内訳は、要介護2が全体の27.0%、要介護3が18.9%を占め、全体の約46%を占めています。

第2号被保険者の要介護認定者数 (単位:人)

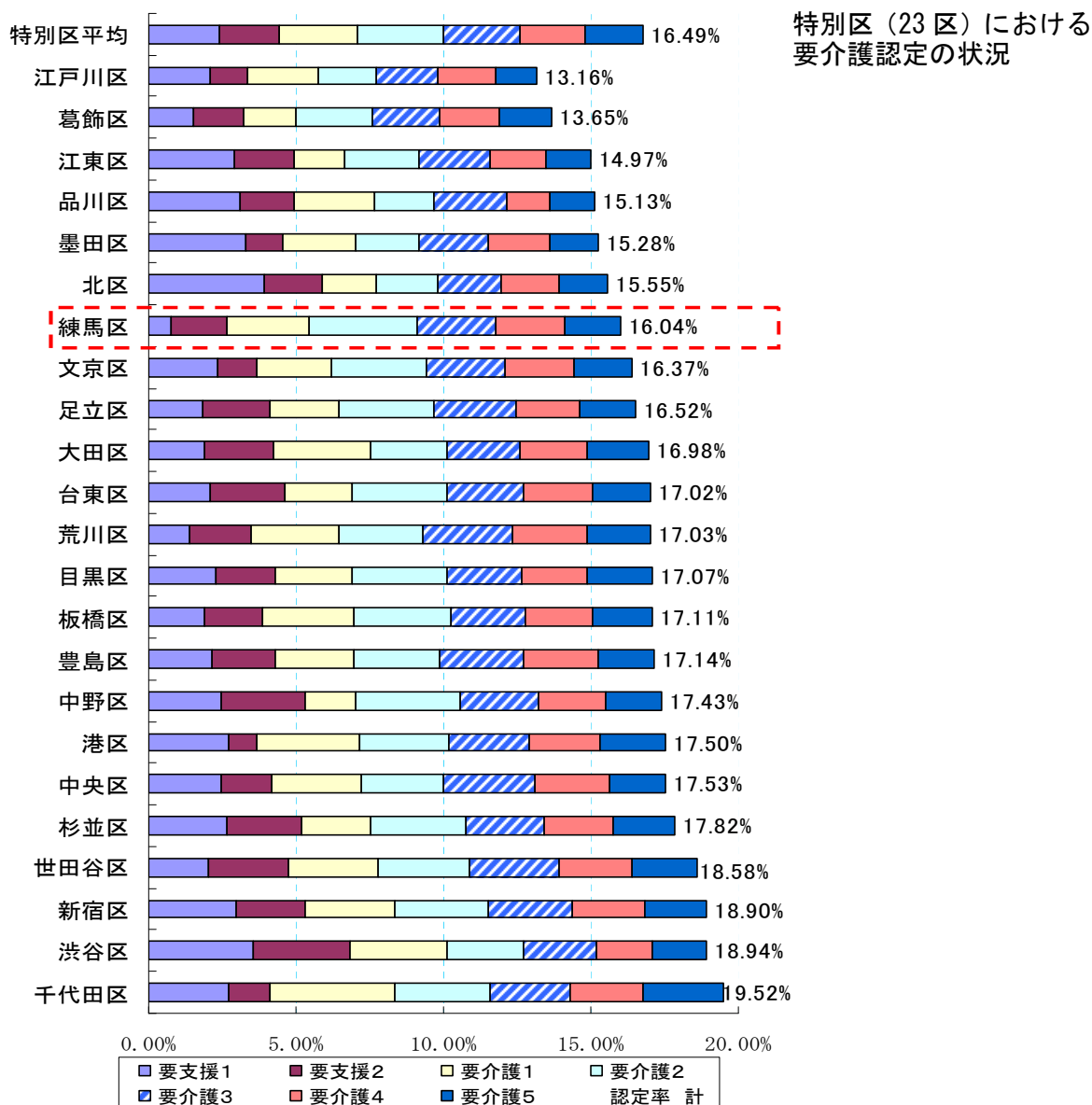
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成18年度	12	58	74	163	111	104	96	618
	1.9%	9.4%	12.0%	26.4%	18.0%	16.8%	15.5%	100.0%
平成19年度	4	54	67	178	139	115	87	644
	0.6%	8.4%	10.4%	27.6%	21.6%	17.9%	13.5%	100.0%
平成20年度	9	53	71	175	122	121	96	647
	1.4%	8.2%	11.0%	27.0%	18.9%	18.7%	14.8%	100.0%

※各年度末現在、ただし平成20年度は見込値です。(資料:「練馬の介護保険」)

③ 要介護認定者状況の特別区(23区)比較

○ 平成19年11月における練馬区の第1号被保険者の要介護認定率(第1号被保険者に占める要介護認定者の割合)を特別区(23区)において比較すると、23区平均より0.45ポイント低く、23区中7番目に低い要介護認定率となっています。

○ 要介護度別の内訳を23区平均と比較してみると、要支援1が23区平均より1.63ポイント低く、要介護2が23区平均より0.82ポイント高くなっています。



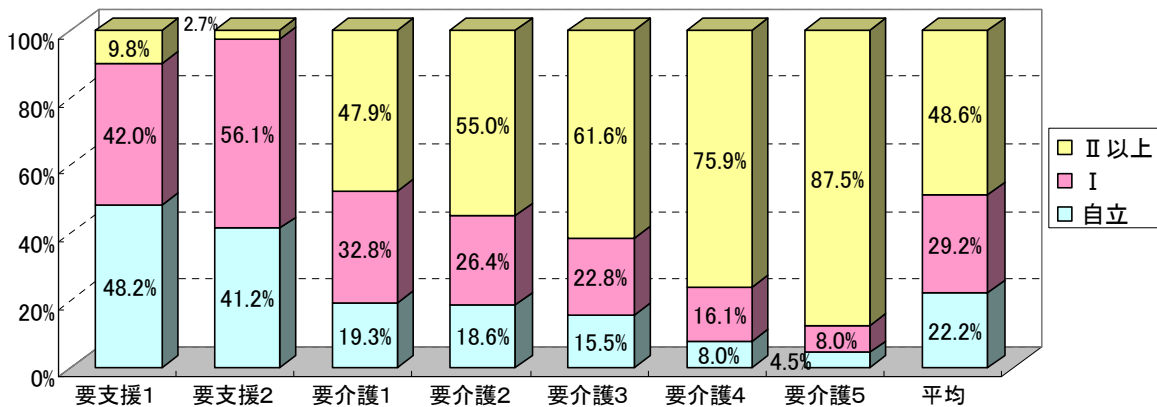
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定率計
特別区平均	2.39%	2.02%	2.68%	2.88%	2.61%	2.22%	1.94%	16.49%
练馬区	0.76%	1.93%	2.76%	3.70%	2.63%	2.37%	1.90%	16.04%

※平成19年11月末現在。(資料:「介護政策評価支援システム」より練馬区にて作成)

④ 認知症の症状がある要介護認定者の状況

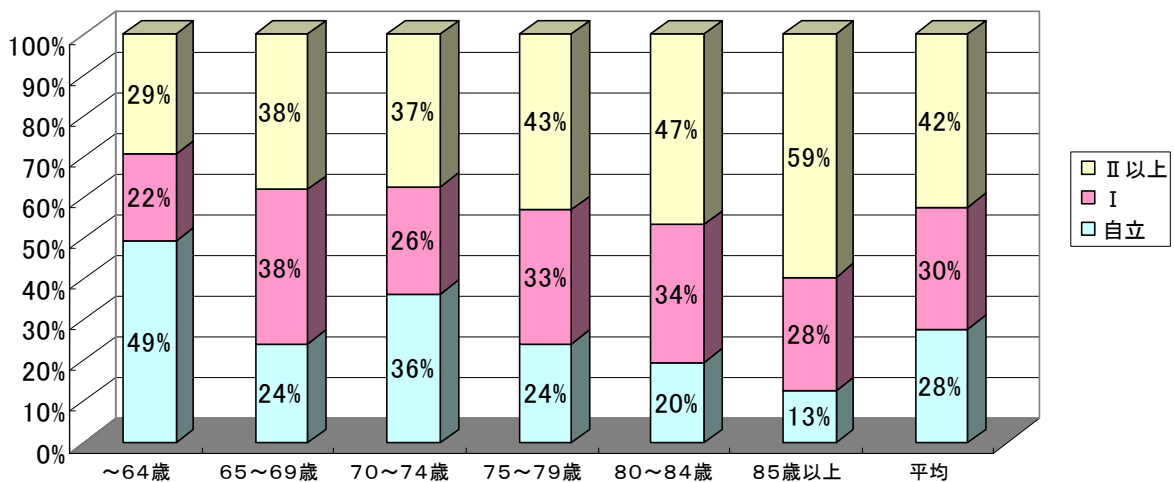
- 平成20年3月審査データによると要介護認定者(第1号・第2号被保険者計)のうち77.8%に何らかの認知症の症状があり、48.6%が見守りなどの日常生活上の介護の支援を必要とする状況です。
- 要介護度が重くなるにつれ、介護を必要とする認知症の割合も増加しています。また、後期高齢者になるとその割合が増え、85歳以上では59%になっています。

要介護認定者に占める認知症の症状がある者の割合(要介護度別)



※平成20年3月要支援・要介護認定審査分。

要介護認定者に占める認知症の症状がある者の割合(年代別)



※平成20年3月要支援・要介護認定審査分。

※日常生活自立度(寝たきり度)は、I以上は何らかの認知症の症状がある方、II以上の方は見守り等の何らかの介護の支援が必要な方を示しています。

(3) 介護給付・予防給付の状況

① 介護保険サービスの利用状況

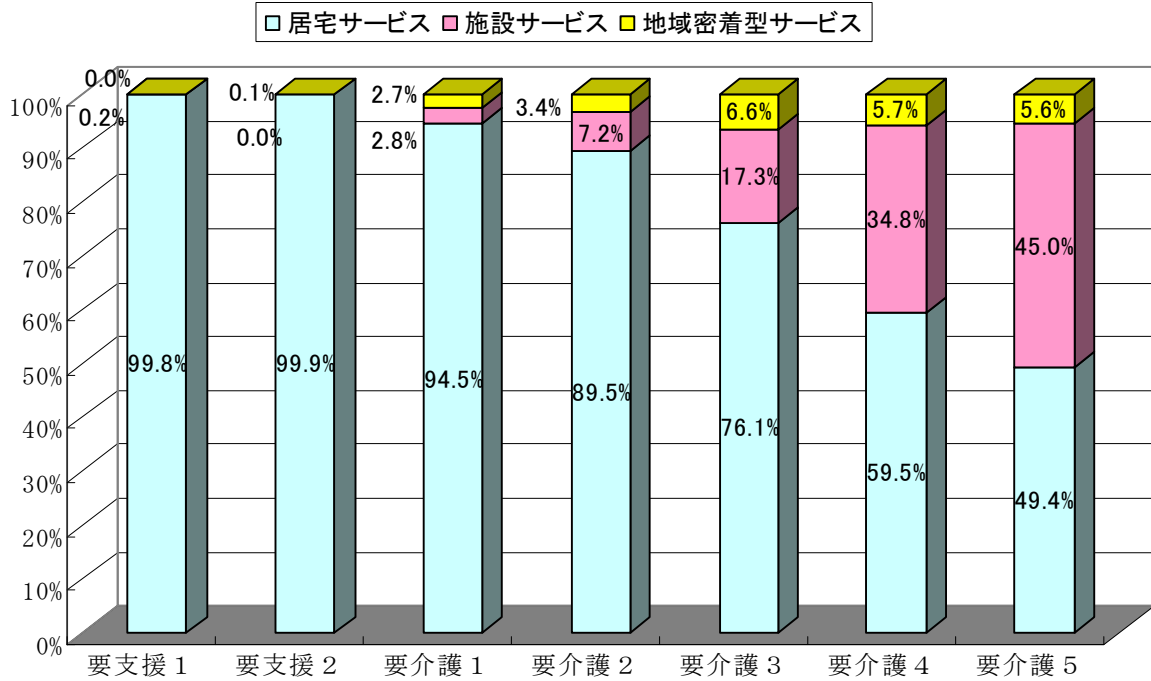
- 各サービスを合わせた介護保険サービスの利用者数を各年度の月平均利用者数で見ると、平成20年度月平均利用者見込みは17,516人であり、平成18年度の月平均利用者数(15,914人)に比べて約1.1倍、1,602人の増加となっています。内訳では居宅サービスのうちの予防給付が約1.8倍になっています。
- 要介護認定者の増加に伴い、居宅サービスの利用者が増加傾向にあります。平成20年度における居宅サービス利用者は全体の79.0%、施設サービス利用者は全体の16.8%、地域密着型サービス利用者は全体の4.2%になります。
- また、要介護度が重い方ほど施設サービスの利用者割合が高くなり、平成20年度見込みでは、要介護5の認定者の45.0%が施設サービスを利用しています。
- 一方、要介護認定を受けながら介護保険サービスを利用していないサービス未利用者は、平成20年度では要介護認定者の17.8%を占めています。未利用者数と未利用者率は、平成18～20年度にかけて、共に微減しています。

介護サービスの月平均利用者数 (単位:人)

	18年度	19年度	20年度
居宅サービス(介護給付)	11,491	11,172	11,767
居宅サービス(予防給付)	1,170	1,945	2,075
施設サービス	2,732	2,903	2,945
地域密着型サービス	521	650	729
計	15,914	16,670	17,516

※各年度別に各月審査分給付実績を月平均値として記載しています。ただし、平成20年度は見込値です。(資料:「練馬の介護保険」)

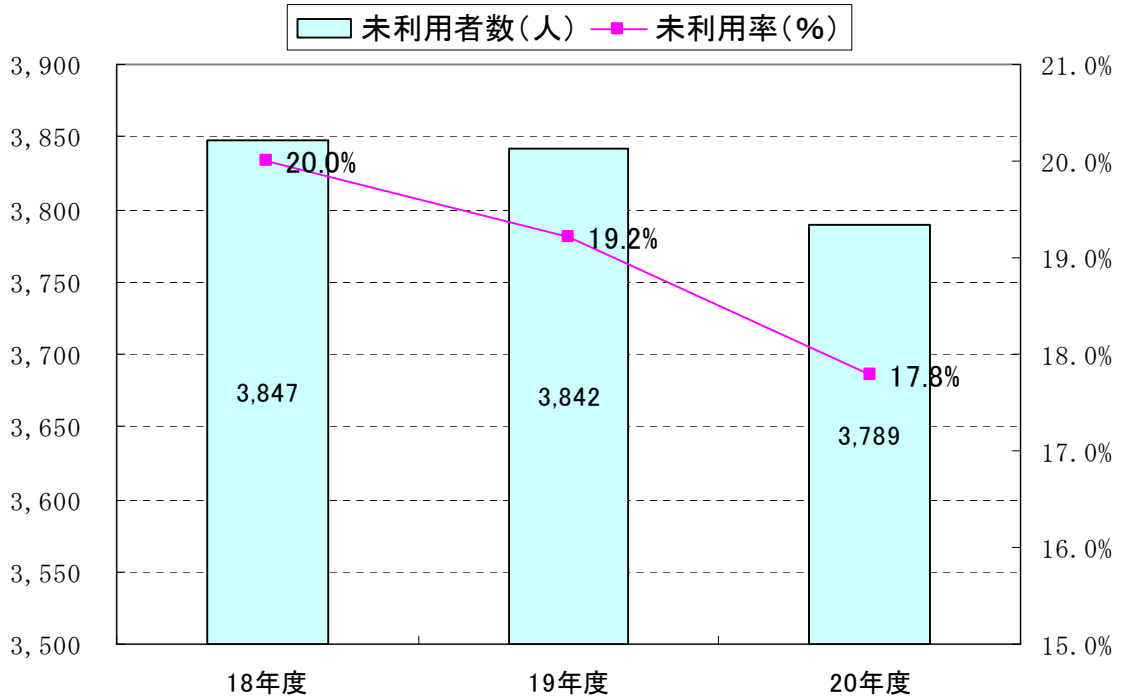
介護保険サービスの要介護認定別利用者数の比率（平成20年度見込値）



(資料：「練馬の介護保険」)

介護保険サービスの月平均未利用者数

(単位:人)



※平成20年度は見込値です。(資料：「練馬の介護保険」)

② 居宅サービスの利用状況

- 平成20年度の介護給付と予防給付を含めた居宅サービス利用者見込は13,856人で、平成18年度(12,660人)と比較すると1.1倍、1,196人の増となっています。要介護度別の内訳をみると、要介護2が29.2%(4,045人)を占めています。平成18年度(2,782人)と比べても1.45倍と年々占める割合が高くなっています。
- 居宅サービスに占める要介護度別の割合は、軽度の方(要支援～要介護1)では、訪問介護サービスが70%以上を占めており、要支援1では80%を超えています。
- 平成20年度におけるサービス種類別の利用者をみると、全体の92.8%の人が居宅介護支援・介護予防支援サービスを利用し、58.2%が訪問介護、44.3%が福祉用具の貸与、34.7%が通所介護サービスを利用しています。
- サービス種類別の平成20年度と平成18年度における月平均利用者数を比較してみると、訪問リハビリテーションサービスがほぼ倍増と大きく増加しています。

居宅サービスの要介護度別・月平均受給者数

(単位:人)

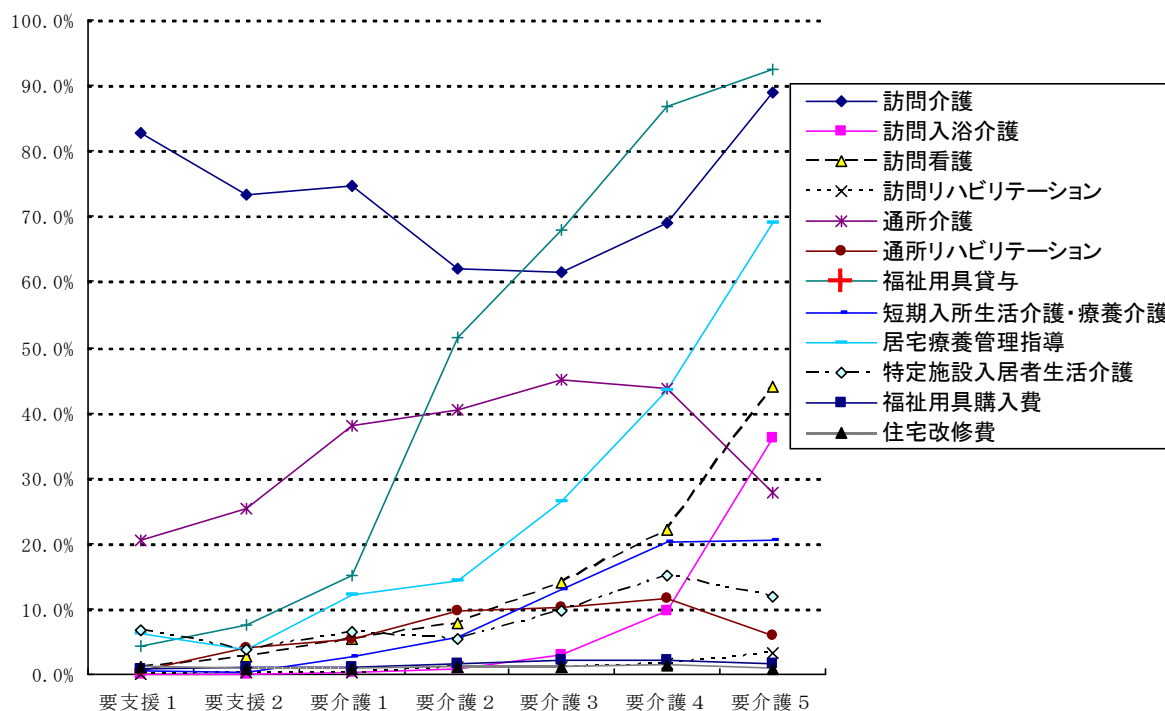
	要支援	要支援1	要支援2	経過的 要介護	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
平成 18年度	103 0.8%	320 2.5%	747 5.9%	509 4.0%	3,758 29.7%	2,782 22.0%	1,953 15.4%	1,526 12.1%	962 7.6%	12,660 100.0%
平成 19年度	/	508 3.9%	1,437 11.0%	1 0.0%	2,613 19.9%	3,509 26.8%	2,338 17.8%	1,679 12.8%	1,031 7.9%	13,116 100.0%
平成 20年度	/	518 3.7%	1,558 11.2%	/	2,459 17.7%	4,045 29.2%	2,538 18.3%	1,693 12.2%	1,045 7.5%	13,856 100.0%

※各年度別に各月審査分給付実績合計を月平均値として記載しています。

ただし、平成20年度は見込値です。(資料:「練馬の介護保険」)

※上段は要介護度別の受給者数、下段は年度受給者総数に占める割合を示しています。

居宅サービス計画に占める居宅サービス別利用者数の割合 (単位:%)



	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
訪問介護	82.7%	73.4%	74.6%	62.0%	61.5%	69.1%	89.1%
訪問入浴介護	0.0%	0.0%	0.2%	0.8%	3.0%	9.8%	36.0%
訪問看護	1.2%	2.7%	5.4%	7.8%	14.1%	22.2%	44.0%
訪問リハビリテーション	0.1%	0.2%	0.3%	1.0%	0.9%	1.7%	3.2%
通所介護	20.5%	25.4%	38.1%	40.4%	44.9%	43.8%	27.6%
通所リハビリテーション	0.7%	4.2%	5.3%	9.6%	10.1%	11.5%	6.0%
福祉用具貸与	4.3%	7.7%	15.1%	51.5%	68.0%	86.9%	92.5%
短期入所生活介護・療養介護	0.4%	0.3%	2.7%	5.5%	13.0%	20.2%	20.5%
居宅療養管理指導	6.2%	3.9%	12.0%	14.2%	26.4%	43.4%	69.0%
特定施設入居者生活介護	6.7%	3.7%	6.4%	5.5%	9.7%	15.1%	11.8%
福祉用具購入費	0.7%	1.0%	1.1%	1.5%	2.1%	2.3%	1.7%
住宅改修費	1.2%	0.9%	0.9%	1.0%	1.2%	1.2%	0.8%

(資料：東京都国民健康保険団体連合会「東京都介護給付実績分析システム」)
 ※居宅サービス別利用者数の割合は、平成19年度実績数値です。

居宅サービス（介護給付・予防給付の合算）種類別・月平均利用者数

(単位:人)

サービスの種類	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
訪問介護	7,674	60.6%	7,675	58.5%	8,069	58.2%
訪問入浴介護	560	4.4%	549	4.2%	564	4.1%
訪問看護	1,405	11.1%	1,390	10.6%	1,449	10.5%
訪問リハビリテーション	82	0.6%	118	0.9%	161	1.2%
通所介護	3,773	29.8%	4,241	32.3%	4,808	34.7%
通所リハビリテーション	966	7.6%	923	7.0%	1,072	7.7%
福祉用具の貸与	5,297	41.8%	5,207	39.7%	6,132	44.3%
短期入所生活介護・療養介護	862	6.8%	972	7.4%	1,002	7.2%
居宅療養管理指導	1,706	13.5%	1,908	14.5%	2,196	15.8%
特定施設入居者生活介護	758	6.0%	948	7.2%	1,103	8.0%
居宅介護支援・介護予防支援	11,575	91.4%	11,864	90.5%	12,858	92.8%
福祉用具購入費	176	1.4%	189	1.4%	193	1.4%
住宅改修費	125	1.0%	126	1.0%	131	0.9%
居宅サービス受給者数	12,660		13,116		13,856	

※各年度別に各月審査給付実績を月平均値として記載しています。

ただし、平成20年度は見込値です。

(資料:「東京都国保連給付分析システム」および「練馬の介護保険」)

※%は、居宅サービス受給者数に占める当該サービスの利用者の割合を示しています。

③ 施設サービスの利用状況

- 平成20年度の施設サービスの月平均受給者数見込は2,941人で、18年度と比較すると1.1倍、211人の増となっています。要介護度別の内訳は、要介護4・5の重度の方が67.8%を占め、年々重度者の占める割合が高くなっています。これは、平成15年度から介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の入所基準の変更を行い、施設サービスを必要としている基準の高い方を優先的に入所できるようにしたことによるものです。
- 平成20年度における施設サービスの種類別の月平均利用者数(見込み)をみると、全体の54.7%の人が介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)を利用し、26.8%が介護老人保健施設、18.5%が介護療養型医療施設を利用しています。
- 平成20年度と平成18年度における施設サービスの種類別の月平均利用者数を比較してみると、介護老人福祉施設、介護老人保健施設では1.1倍の増が見込まれています。

施設サービスの要介護度別・月平均受給者数

(単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
平成18年度	1	1	125	283	465	1,009	846	2,730
	0.0%	0.0%	4.6%	10.4%	17.0%	37.0%	31.0%	100.0%
平成19年度	1	1	97	300	524	1,021	959	2,903
	0.0%	0.0%	3.3%	10.3%	18.1%	35.2%	33.1%	100.0%
平成20年度	1	0	96	303	546	1,019	976	2,941
	0.0%	0.0%	3.3%	10.3%	18.6%	34.6%	33.2%	100.0%

※各年度別に各月審査分給付実績合計を月平均値として記載しています。

ただし、平成20年度は見込値です。(資料:「練馬の介護保険」)

※上段は要介護度別の受給者数、下段は年度受給者総数に占める割合を示しています。

施設サービス種類別の月平均利用者数

(単位:人)

	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	総計
平成18年度	1,437	739	554	2,730
	52.6%	27.1%	20.3%	
平成19年度	1,547	759	597	2,903
	53.3%	26.1%	20.6%	
平成20年度	1,610	787	544	2,941
	54.7%	26.8%	18.5%	

※各年度別に各月審査分給付実績合計を月平均値として記載しています。

ただし、平成20年度は見込値です。(資料:「練馬の介護保険」)

※上段は施設ごとの受給者数、下段は構成比を示しています。

施設サービス種類別・要介護度別の月平均利用者数(平成20年度)

(単位:人)

サービスの種類	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
介護老人 福祉施設	1	0	47	143	272	577	570	1,610
	0.1%	0.0%	2.9%	8.9%	16.9%	35.8%	35.4%	
介護老人 保健施設	0	0	44	141	230	265	107	787
	0.0%	0.0%	5.6%	17.9%	29.2%	33.7%	13.6%	
介護療養型 医療施設	0	0	5	19	44	177	299	544
	0.0%	0.0%	0.9%	3.5%	8.1%	32.5%	55.0%	

(資料:「練馬の介護保険」)

※上段は要介護度別の利用者数、下段は構成比を示しています。

④ 地域密着型サービスの利用状況

- 平成18年度の介護保険法改正により、新たなサービスとして導入された地域密着型サービスは、従来からの認知症対応型共同生活介護をはじめ、増加傾向にあります。
- 夜間対応型訪問介護と小規模多機能型居宅介護については、平成18年度利用者数はごくわずかでしたが、サービス提供拠点の整備に伴い着実に伸びてきており、今後ともサービスの周知と参入促進が必要です。
- 地域密着型特定施設入居者生活介護・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護については、経営の困難等の理由から、全国的に整備が進んでおらず、練馬区においても未整備の状況です。

地域密着型サービス種類別の月平均利用者数 (単位:人)

サービスの種類	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	合計
平成18年度	2	272	6	241	0	0	521
平成19年度	27	315	35	273	0	0	650
平成20年度	79	343	47	283	0	0	752

※各年度別の給付実績合計を実績月数の平均値として記載しています。

ただし、平成20年度は見込値です。

(資料:東京都国民健康保険団体連合会「東京都介護給付実績分析システム」)

(4) 介護サービスの基盤整備状況

① 居宅サービスの整備状況

- 平成20年における練馬区に所在地を有している居宅サービス事業者数は551事業所であり、平成18年と比較すると23事業者の増であり、増加率は鈍化しています。通所介護事業者と特定施設入居者生活介護事業者等は増加していますが、訪問介護事業者が減少しています。
- 特に、短期入所生活介護事業者や短期入所療養介護事業者のように、併設施設の整備に伴い増加するサービスは、併設施設の整備に左右されるため増えにくい状況です。
- 福祉用具の貸与事業者は、区内に所在していなくても広範囲での事業が可能のため、他地域からの出入りが激しく、区内での事業所設置は横ばい状況です。
- また、法人格を所有していない状況等から基準該当サービス事業者として、登録によるサービス提供を行う事業者は、ほぼ横ばい状況が続いています。

練馬区内に所在する居宅サービス事業者数

サービスの種類	平成18年	平成19年	平成20年
居宅介護支援	161	155	156
訪問介護	163	160	150
訪問入浴介護	5	5	5
訪問看護	31	34	33
訪問リハビリテーション	3	3	6
通所介護	66	74	82
通所リハビリテーション	11	10	10
短期入所生活介護	17	20	21
短期入所療養介護	11	10	11
特定施設入居者生活介護	14	21	27
福祉用具貸与	26	26	26
特定福祉用具販売	20	26	24
合計	528	544	551

※ 練馬区内に所在する居宅サービス事業者を掲載しています。

※ 各年4月1日現在。(資料：「練馬の介護保険」)

練馬区登録の基準該当サービス事業者数

サービスの種類	平成18年	平成19年	平成20年
居宅介護支援	0	0	0
訪問介護	1	1	1
通所介護	1	0	1
短期入所生活介護	0	1	2
合計	2	2	4

※各年4月1日現在。(資料：「練馬の介護保険」)

総論第2章 高齢者を取り巻く現状

② 施設サービスの整備状況

- 平成20年における介護保険施設の整備状況は、29箇所、2,171床(定員数)となっています。サービスの種類別に定員数の内訳でみると、58.6%が介護老人福祉施設、次いで28.6%が介護老人保健施設となっています。
- 平成20年と平成18年を比較してみると2箇所、定員132床の増で、増加率はいずれも鈍化しています。

練馬区内の介護保険施設の整備状況

サービスの種類	平成18年			平成19年			平成20年		
	箇所	定員	構成比%	箇所	定員	構成比%	箇所	定員	構成比%
介護老人福祉施設	16	1,140	55.9%	17	1,210	60.2%	18	1,272	58.6%
介護老人保健施設	6	620	30.4%	5	520	25.9%	6	620	28.6%
介護療養型医療施設	5	279	13.7%	5	279	13.9%	5	279	12.9%
合計	27	2,039		27	2,009		29	2,171	

※各年の左欄は施設箇所数、中央欄は整備床数(定員数)、右欄は整備床数の全体に占める割合を示しています。

※各年4月1日現在。(資料:「練馬の介護保険」)

③ 地域密着型サービスの整備状況

- 平成20年における地域密着型サービス事業者は、36事業者となっています。
- 平成20年と平成18年を比較してみると9事業者の増で、特に認知症対応型共同生活介護事業者が1.5倍に増加しています。

地域密着型サービス事業者数

サービスの種類	平成18年		平成19年		平成20年	
	箇所	構成比%	箇所	構成比%	箇所	構成比%
夜間対応型訪問介護	0		1	2.9%	1	2.8%
認知症対応型通所介護	17	63.0%	17	50.0%	17	47.2%
小規模多機能型居宅介護	0		2	5.9%	3	8.3%
認知症対応型共同生活介護	10	37.0%	14	41.2%	15	41.7%
地域密着型特定施設入居者生活介護	0		0		0	
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0		0		0	
合計	27		34		36	

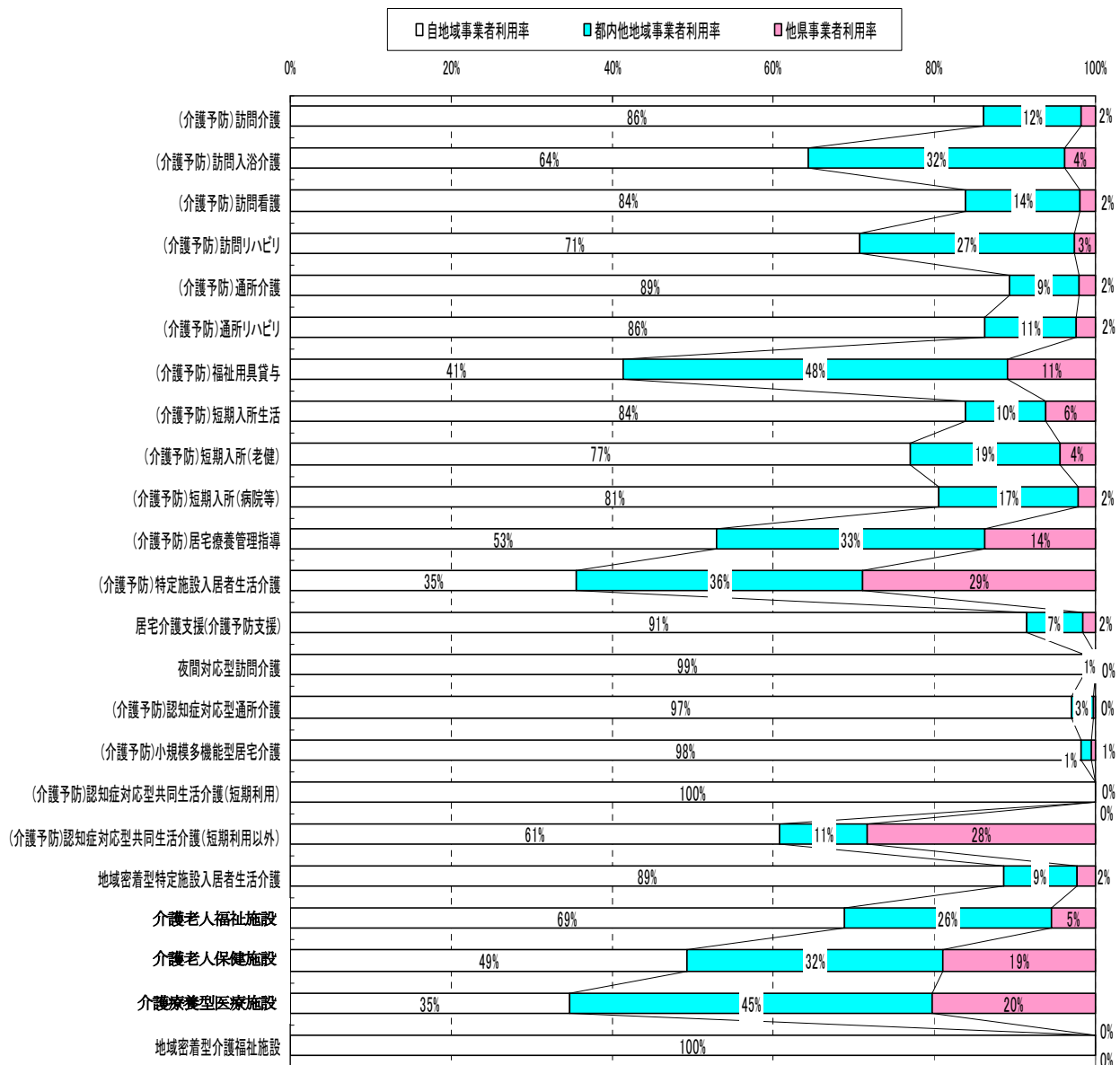
※各年の左欄は施設箇所数、右欄は整備数の全体に占める割合を示しています。

※各年4月1日現在。(資料:「練馬の介護保険」)

④ 居宅サービスおよび施設サービスの区内事業者利用の状況

- 平成20年3月のサービス種別・地域別事業者供給状況を見ると、利用者が通うことによりサービス提供が行われる通所介護・通所リハビリ等の通所系サービスは、約9割が区内事業者を利用しています。
- また、居宅サービスの中では、福祉用具貸与が41%、訪問入浴介護が64%と、区内の事業者を利用する率が低い状況です。
- 入院・入所をしてサービス提供が行われる施設系サービスの中では、(介護予防)特定施設入居者生活介護が35%、介護療養型医療施設も35%、介護老人保健施設が49%と、区内の事業者を利用する率が低い状況です。

サービス種別の地域別事業者供給状況（練馬区）



※平成20年3月集計分。

(資料：東京都国民健康保険団体連合会「東京都介護給付実績分析システム」)

⑤ 介護老人福祉施設の待機者の状況

- 平成20年6月末時点における区内の介護老人福祉施設への入所待機者は2,405人(実人員)です。待機者実人員は、平成18年度以降増加傾向にあります。
- 平成20年度における1人当たり申し込み数は平均4.16箇所となっています。

練馬区内介護老人福祉施設の入所待機者の状況 (単位:人)

	待機者 実人員	第1号 被保険者数比	待機者 延べ人員	1人当たり の平均申込数	区内施 設床数	第1号 被保険者数
平成18年度	2,375	1.87%	9,493	4.00	1,240	127,133
平成19年度	2,385	1.83%	9,906	4.15	1,302	130,681
平成20年度	2,405	1.83%	10,014	4.16	1,302	131,306

※各年度末現在。ただし、20年度は6月末現在の数値です。